

(参考)

基本的な方向

目 標

①健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現

全体目標 ①健康寿命の延伸
②健康格差の縮小

②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

		生活習慣の改善・社会環境の改善					
		栄養・食生活	身体活動・運動	休養	喫煙	飲酒	歯・口腔の健康
NCDの予防	がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 ②がん検診の受診率の向上					
	循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 ②高血圧の改善(最高血圧の平均値の低下) ③脂質異常症の減少(総コレステロール240mg/dl以上の割合) ④メタボ予備群・メタボ該当者の減少 ⑤特定健診・特定保健指導の実施率の向上					
	糖尿病	①合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入率)の減少 ②治療継続者の割合の増加 ③糖尿病有病者の増加の抑制					
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	①COPDの知識の普及					

③社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

社会生活に必要な機能の維持・向上	こころの健康	①自殺者数の減少 ②強いうつや不安を感じている人の割合の減少 ③メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加 ④子どもの心の支援環境の充実					
	次世代の健康	①健康な生活習慣(栄養・食生活、運動)を有する子どもの割合の増加 ②全出生数中の極低出生体重児・低出生体重児の割合の減少					
	高齢者の健康	①要介護状態の高齢者の割合の減少 ②認知機能低下ハイリスク高齢者の発見率の向上 ③ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している国民の割合の増加 ④就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加					

④健康を支え、守るための社会環境の整備

地域の絆による社会づくり	①地域のつながりの強化 ②健康づくりを目的とした住民活動の増加 ③健康づくりに関する情報発信に自発的に取り組む企業数の増加 ④健康づくりに関して身近で気軽に専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加 ⑤健康格差対策に取り組む自治体数の増加					
--------------	--	--	--	--	--	--

⑤多様な分野における連携